

団塊世代・シニア世代の地域参加促進に向けてのポイント

～会議での意見まとめ～

きっかけ 活動継続、モチベーションUP

- ・地域デビューのきっかけ、最初の1歩が大事、連れ出す
- ・男の料理教室は効果大
- ・ミッション(使命感・目的)を持ち、インセンティブ(刺激)を与える
- ・インセンティブを与えるという意味では表彰も有効
- ・ご近所や自分の住んでいる地域を知る機会をもつ
- ・好きでやっていることが感謝される実感、価値を経験
- ・退職後すぐに地域活動へは難しい。現役時代から少しずつ接触を
- ・地域をよくするのは団塊の使命だとPRする
- ・企業のセカンドライフ講座でキャリアチェンジを考えさせる

PR・気運醸成

- ・地域活動の魅力を伝える広報戦略
- ・会社人間、現役人間へメッセージを届け、動かすようなPR
- ・情報提供(インターネット活用)
- ・マスコミを活用。マスコミを惹きつける事業展開

サポート機能

- ・地域活動をサポートしてくれる仕組み
- ・「サポートデスク」や「プログラムオフィサー」など
- ・NPO設立やその後をサポートする仕組み
- ・地域の活動をまとめるひとが必要
- ・地域の窓口、ご意見番がいて欲しい

マッチング・コラボ

- ・若い世代も一緒に活動
- ・「働く」と「地域活動」とのコラボ
- ・「趣味活動」が「地域活動」へ繋がる仕組み
- ・活動場所と活動当初の資金が必要
- ・社会貢献したい思いと貢献場所とのマッチング
- ・企業のノウハウや人を地域活動の一助に。企業と地域との協働
- ・会社人間と地域をつなぐ仕組みが必要

その他

- ・講座は目的がしっかり見えるものを
- ・団塊世代はまだ働きたい
- ・NPOも団塊世代を引き込むパワーを持つ
- ・団塊世代へのアプローチは福祉からだけではなく、社会教育・教育分野からアプローチ、連携が必要

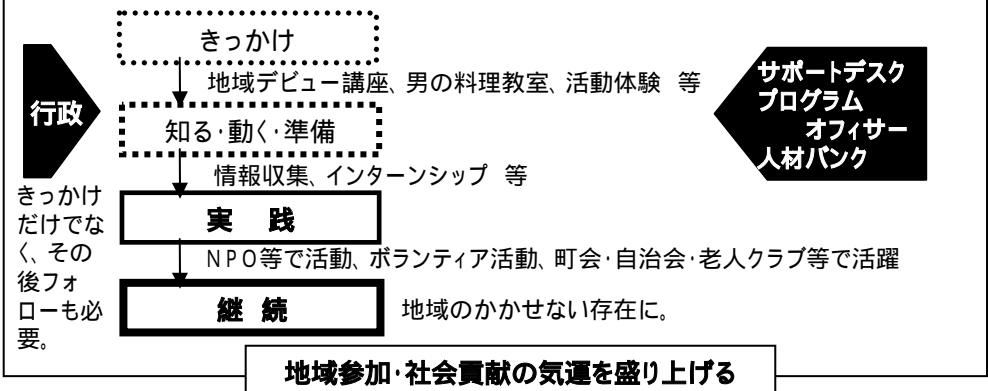
団塊世代って？

地域でのイメージ……

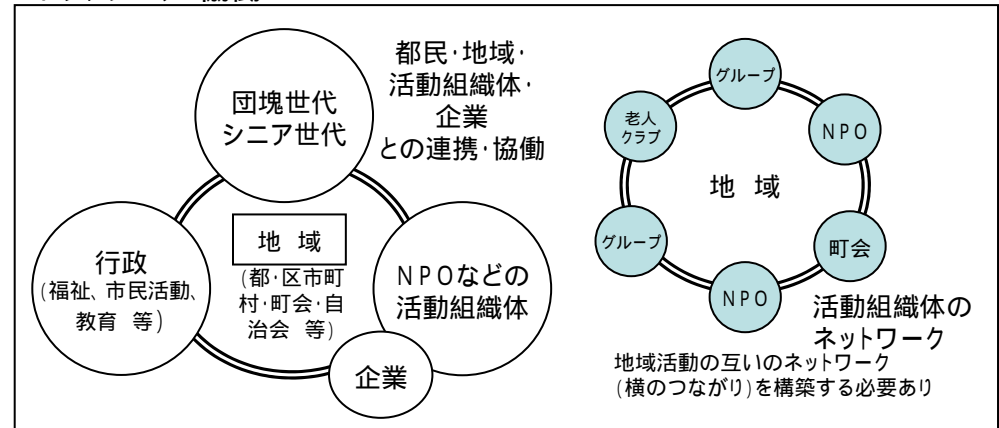
- 個人主義 ○地域活動には興味なし ○趣味や気の合う仲間達とのみつきあう
- 「自分のことは自分で」 ○助け合い精神が希薄 ○まだ働いている

- しかし、意識改革・働きかけによって、「地域人」へと大きく変貌する可能性を秘めている。
- 65歳からの本格地域デビューまで、地域を知る・考える・楽しむ・関わる・趣味のスキルを磨く。
- ▼地域・行政も豊かなスキルを生かす受け皿等を準備

地域デビューへのステップ



ネットワーク・協働



市民と行政との協働による取り組みが効果大。シニア世代に地域や社会の課題解決で活躍してもらうためには、行政側もシニア世代と共に努力をし、作り上げていくことが必要。シニア世代の豊かな知識や経験は行政にとっても大切な宝。